

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>1 データヘルス計画の策定について (30分)</p> <p>平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」の中では「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」として、全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画としてデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進することを掲げました。</p> <p>また「第5次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）」では、「政策1 健やかで安心できるまち」の「施策6 保健事業の充実」において、主な取組内容の「2 健康寿命の延伸を目指します」の中で「国民健康保険データシステムを活用し、地区ごとに生活習慣病予防教室や講座の開催、特定健康診査結果に基づく個別の保健指導を実施します。」と定めています。</p> <p>さらに平成27年3月定例会における山中議員の一般質問においては、データヘルス計画について「埼玉県国民健康保険団体連合会に設置された保健事業支援・評価委員会の支援を受けながら、平成29年度をめどに策定する予定」と答弁されています。</p> <p>これらを踏まえて、本市のデータヘルス計画の策定について質問します。</p> <p>(1) 特定健康審査・特定保健指導や診療報酬明細書等のデータを、これまで本市では、どのように活用していますか。</p> <p>(2) 第3期の特定健康診査等実施計画に合わせてデータヘルス計画が策定されると思われますが、それぞれの計画策定に向けたスケジュールと取組はどのようになりますか。</p> <p>(3) データヘルス計画は「身の丈」に合った取組が望ましいとされ、はじめから全ての保健事業を網羅せずに、取り組めるところから一歩ずつ進めていく計画であるとされていますが、現時点で想定される計画は、どのようなものになると考えられますか。</p> <p>(4) 埼玉県で平成26年度からモデル事業を開始した「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」は28年度から全県での実施が予定されており、本市も参加するとのことですが、2カ年のモデル事業の成果と課題をどのように把握していますか。</p> <p>(5) データヘルス計画の策定や事業実施にあたり、坂戸鶴ヶ島医師会との連携は不可欠ですが、今後どのように取り組まれますか。</p>	市長